

# ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー 株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）

Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

当ファンドは、特化型運用を行います。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限（設定日：2020年9月28日）
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。
主要投資対象	ベビーファンド※ 以下のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー 株式マザーファンド 世界各国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケット*1も含まれます。）の中で、情報技術の開発、進化、活用により成長性が高いとティー・ロウ・プライスが判断する情報技術関連分野のリーディング・カンパニー*2の株式を中心に投資を行います。 *1 エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。 *2 情報技術関連分野のリーディング・カンパニーとは、情報技術の開発、進化または活用等により、製品、商品、サービス等を提供し、世界をけん引するような企業をいい、今後その可能性があるとしてティー・ロウ・プライスが判断する企業を含みます。
組入制限	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年2月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。なお、必ず分配を行うものではありません。

※ベビーファンドとは、ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）およびティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）です。

## 運用報告書（全体版）

Aコース

第6期（決算日 2026年2月25日）

Bコース

作成対象期間：2025年2月26日～2026年2月25日

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）」「ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）」は、このたび上記のとおり決算を行いました。

ここに当作成対象期間の運用状況等について、ご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



# T. Rowe Price

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

ホームページ [troweprice.co.jp](http://troweprice.co.jp)

照会先 電話番号 03-6758-3840

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

Aコース（為替ヘッジあり）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入率	純資産額
	(分配落)	税引前	期騰落	騰落率	騰落率		
	円	円		%	%	%	百万円
2期（2022年2月25日）	9,159	0	△29.0	13,057	7.0	99.4	60,817
3期（2023年2月27日）	5,644	0	△38.4	11,680	△10.5	101.8	37,461
4期（2024年2月26日）	8,472	0	50.1	17,624	50.9	101.8	43,042
5期（2025年2月25日）	9,509	0	12.2	21,482	21.9	96.5	30,069
6期（2026年2月25日）	11,673	0	22.8	27,223	26.7	99.3	25,485

(注1) 騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注4) 参考指数（MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース））は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

(注5) 騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2025年 2月25日	円 9,509	% -	21,482	% -
2 月 末	9,100	△ 4.3	20,614	△ 4.0
3 月 末	8,305	△12.7	19,098	△11.1
4 月 末	8,340	△12.3	19,157	△10.8
5 月 末	9,284	△ 2.4	21,237	△ 1.1
6 月 末	9,989	5.0	22,894	6.6
7 月 末	10,573	11.2	24,191	12.6
8 月 末	10,681	12.3	24,599	14.5
9 月 末	11,177	17.5	25,948	20.8
10 月 末	12,126	27.5	28,151	31.0
11 月 末	11,172	17.5	26,705	24.3
12 月 末	11,327	19.1	27,226	26.7
2026年 1 月 末	11,715	23.2	27,545	28.2
(期 末) 2026年 2月25日	11,673	22.8	27,223	26.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 参考指数（MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース））は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

(注4) 騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

**Bコース（為替ヘッジなし）**

**■最近5期の運用実績**

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 引 前 金	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
2期（2022年2月25日）	10,169	0	△22.4	14,256	15.0	98.9	78,694
3期（2023年2月27日）	8,046	0	△20.9	14,787	3.7	98.2	58,156
4期（2024年2月26日）	14,005	0	74.1	24,514	65.8	99.8	86,034
5期（2025年2月25日）	16,370	0	16.9	29,696	21.1	98.8	73,299
6期（2026年2月25日）	21,827	0	33.3	39,299	32.3	98.8	78,208

(注1) 騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注4) 参考指数（MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース））は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

(注5) 騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2025年 2月25日	円 16,370	% -	29,696	% 98.8
2 月末	15,578	△ 4.8	28,364	△ 4.5
3 月末	14,302	△12.6	26,282	△11.5
4 月末	13,870	△15.3	25,290	△14.8
5 月末	15,613	△ 4.6	28,424	△ 4.3
6 月末	17,013	3.9	30,962	4.3
7 月末	18,533	13.2	33,624	13.2
8 月末	18,515	13.1	33,597	13.1
9 月末	19,684	20.2	35,900	20.9
10月末	22,065	34.8	40,222	35.4
11月末	20,793	27.0	38,692	30.3
12月末	21,161	29.3	39,489	33.0
2026年 1 月末	21,598	31.9	39,285	32.3
(期 末) 2026年 2月25日	21,827	33.3	39,299	32.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

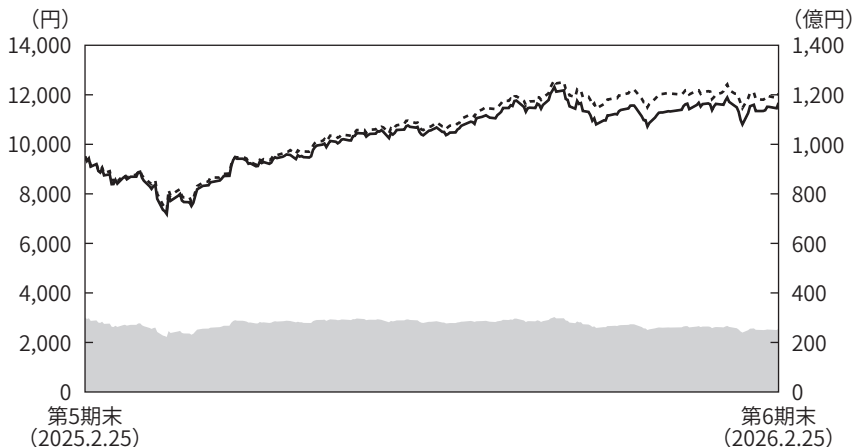
(注3) 参考指数（MSCIオール・カンTRIES・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース））は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

(注4) 騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

## 運用経過

### Aコース（為替ヘッジあり）

#### ■基準価額等の推移（2025年2月26日～2026年2月25日）



第6期首： 9,509円  
 第6期末： 11,673円  
 （既払分配金0円（税引前））  
 騰落率： 22.8%  
 （分配金再投資ベース）

■ 純資産総額（右軸） — 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸） ---- 参考指数（左軸）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。
- (注5) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

#### ■基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

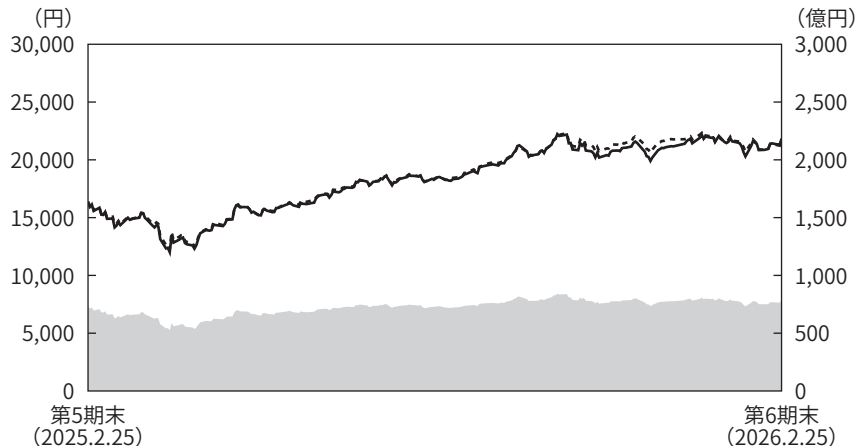
- ・ エヌビディア（米国／半導体・半導体製造装置）や台湾セミコンダクター（台湾／半導体・半導体製造装置）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ アディエン（オランダ／金融サービス）やハブスポット（米国／ソフトウェア・サービス）といった組入銘柄の株価が下落したこと。
- ・ 為替ヘッジ・コストがマイナス要因となったこと。

**Bコース（為替ヘッジなし）**

**■基準価額等の推移（2025年2月26日～2026年2月25日）**



第6期首： 16,370円  
 第6期末： 21,827円  
 （既払分配金0円（税引前））  
 騰落率： 33.3%  
 （分配金再投資ベース）

■ 純資産総額（右軸） — 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸） ---- 参考指数（左軸）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。
- (注5) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

**■基準価額の主な変動要因**

（主なプラス要因）

- ・ エヌビディア（米国／半導体・半導体製造装置）や台湾セミコンダクター（台湾／半導体・半導体製造装置）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。
- ・ 為替市場で外国通貨が円に対して上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ アディエン（オランダ／金融サービス）やハブスポット（米国／ソフトウェア・サービス）といった組入銘柄の株価が下落したこと。

## Aコース～Bコース共通

### ■投資環境

(株式市場)

当期の世界株式市場は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(MSCI ACWI: 税引前配当込み、現地通貨ベース)でみて上昇しました。期初はトランプ関税をめぐる不透明感から上値重く推移し、実際にトランプ大統領が大規模な相互関税案を発表した4月初めには急落しました。しかし、自律反発後は、期末にかけて上昇局面が続きました。①各国との貿易協議や関税率引き下げの進展、②利下げや人工知能(AI)をめぐる商機への期待などを背景に米国株式市場が上昇しました。また、マクロ経済見通しの改善などから欧州株式市場が堅調だったほか、AIをめぐる投資の恩恵が期待されたアジアの主要国や資源高などから中南米諸国も上昇し、新興国株式市場は米国など先進国を上回る上昇となりました。

MSCI ACWIの情報技術セクター指数は、期を通じてAIの需要拡大による恩恵が期待された先端半導体が相場をけん引してMSCI ACWIを上回る上昇となりました。ただし、2025年11月以降は、バリュエーション面やAI関連の巨額設備投資に対する懸念が相場の上値を抑えたほか、ソフトウェア関連銘柄は、AIによる代替が警戒され、期末にかけて下落圧力が強まりました。情報技術セクター以外では、検索大手Googleの親会社のアルファベットや電気自動車(EV)大手のテスラなどが大幅に上昇しました。

(為替市場)

為替市場では、①円安志向と目される高市政権の発足も背景に、4月半ばから期末にかけて円安圧力が持続した一方、②米国を除く各国の利下げ終了観測の浮上、③資源価格の上昇、④世界的な株高持続にみられる投資家のリスク選好度の高さなどから、多くの通貨が円に対して上昇しました。

### ■ポートフォリオについて

当ファンドは、ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、世界各国の株式(エマージング・マーケット\*<sup>1</sup>も含みます。)の中で、情報技術の開発、進化、活用により成長性が高いとティール・ロウ・プライスが判断する情報技術関連分野のリーディング・カンパニー\*<sup>2</sup>の株式を中心に投資を行います。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。また、Aコースでは実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

\*<sup>1</sup> エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

\*<sup>2</sup> 情報技術関連分野のリーディング・カンパニーとは、情報技術の開発、進化または活用等により、製品、商品、サービス等を提供し、世界をけん引するような企業をいい、今後その可能性があるとティール・ロウ・プライスが判断する企業を含みます。

<マザーファンド>

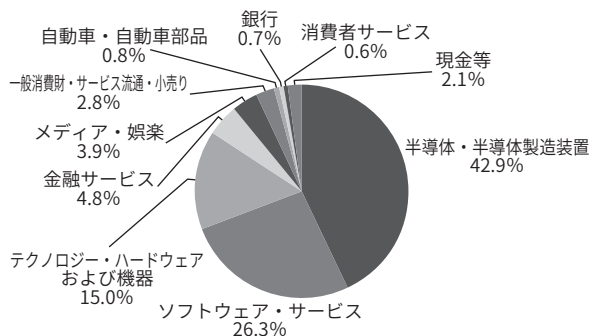
銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ\*<sup>1</sup>」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティール・ロウ・プライス\*<sup>2</sup>のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

\*<sup>1</sup> ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

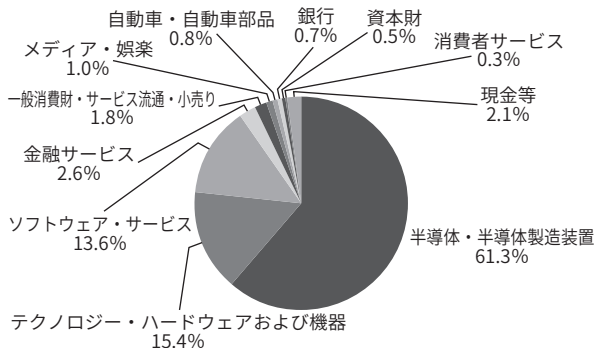
\*<sup>2</sup> 委託会社およびその関連会社をいいます。

その結果、当期末におけるポートフォリオの産業グループ配分は、半導体・半導体製造装置、ソフトウェア・サービス、テクノロジー・ハードウェアおよび機器が上位となりました。

マザーファンドのセクター別組入比率  
前期末（2025年2月25日）



当期末（2026年2月25日現在）



(注) セクターは世界産業分類基準（G I C S）を使用しています。ティール・ロウ・プライスは、将来の報告についてG I C Sの更新があればそれに従います。

世界産業分類基準（「G I C S」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「M S C I」）およびマグローヒル・カンパニーズ傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S & P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティール・ロウ・プライスにライセンス供与されています。M S C I、S & PまたはG I C Sの作成、編集もしくはG I C S分類に関する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その獨創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、M S C I、S & P、その関連会社またはG I C Sの作成、編集もしくはG I C S分類に関する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

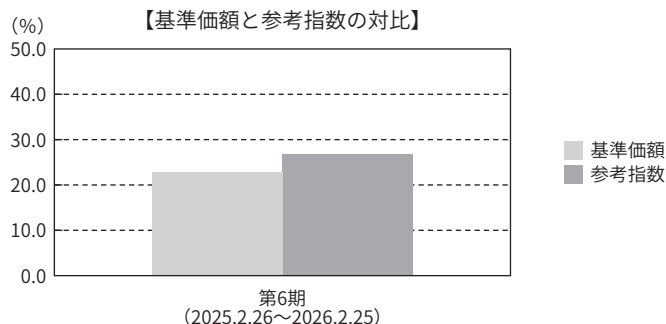
個別銘柄では、サムスン電子（韓国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）やインテル（米国／半導体・半導体製造装置）のほか、アリスタネットワークス（米国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）などの組入を開始しました。一方で、アップル（米国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）やマイクロソフト（米国／ソフトウェア・サービス）の組入を削減したほか、N X Pセミコンダクターズ（オランダ／半導体・半導体製造装置）などの組入を終了しました。

株式の組入比率は当期間を通じて高い水準を維持しました。

## ■ベンチマークとの差異について

### Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

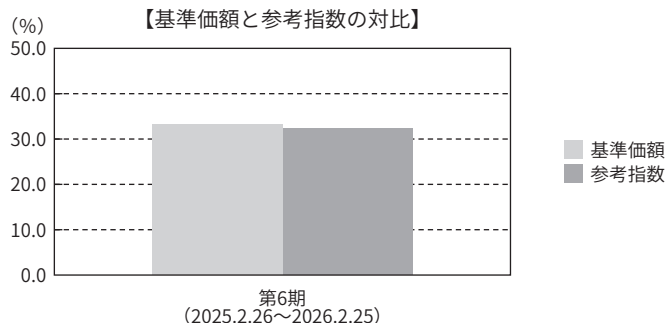


(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

### Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

**Aコース（為替ヘッジあり）****■分配金**

当期の分配金は、中長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。なお、留保益につきましては信託財産内に留保し、元本部分と同一の運用を行います。

**■分配原資の内訳（1万口当たり）**

項目	当期
	2025年2月26日 ～2026年2月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,888円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

**Bコース（為替ヘッジなし）****■分配金**

当期の分配金は、中長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。なお、留保益につきましては信託財産内に留保し、元本部分と同一の運用を行います。

**■分配原資の内訳（1万口当たり）**

項目	当期
	2025年2月26日 ～2026年2月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	11,827円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。また、Aコースでは実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### <マザーファンド>

今後も、90年近くに及ぶ成長株投資の伝統と世界中に広がる株式調査網を活用し、柔軟かつ機動的ながら規律ある銘柄選択・ポートフォリオ運営を継続し、革新的なテクノロジー進化の果実を投資家の皆様にお届けすることを目指します。これまで通り、マクロ環境や増税等、企業業績に影響を与える様々な不確定要素に留意しつつ、足元の状況よりも長期のトレンド、構造変化やライフスタイルの変化の恩恵などに目を向け、長期的な利益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力しています。

## お知らせ

下記の通り約款変更を行いました。

- ・運用報告書の電子交付について、投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴う記載の変更を行いました。（2025年4月1日付け）

**Aコース（為替ヘッジあり）**

**■1万口当たりの費用明細**

項目	当期		項目の概要
	(2025年2月26日 ～2026年2月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	185円	1.793%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,315円です。
(投信会社)	( 96)	(0.935)	投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	( 85)	(0.825)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	( 3)	(0.033)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.030	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 3)	(0.030)	
(c) その他費用	5	0.053	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 4)	(0.035)	その他は、法定書類等の作成等に要する費用（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用）、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	193	1.876	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

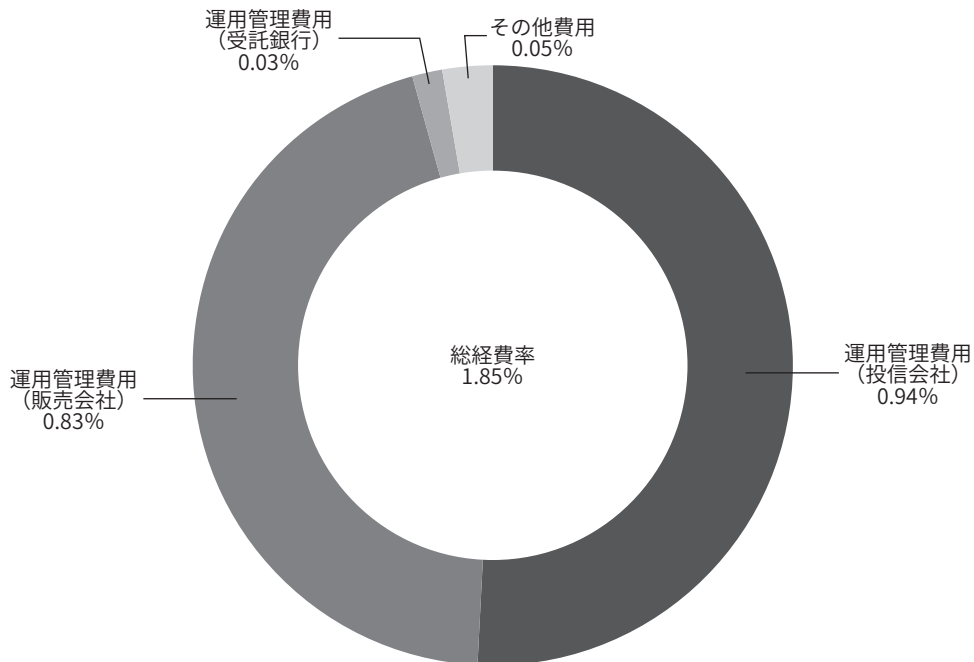
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**Aコース（為替ヘッジあり）**

（参考情報）

■ **総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年2月26日から2026年2月25日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千口 1,054,785	千円 1,751,958	千口 7,028,184	千円 14,299,362

(注) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	95,993,620千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	100,098,250千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.95

(注1) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2025年2月26日から2026年2月25日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千口 16,741,587	千口 10,768,188	千円 25,852,266

(注) 単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

2026年2月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千円 25,852,266	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	322,988	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	26,175,254	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

(注2) ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産102,874,328千円の投資信託財産総額104,923,992千円に対する比率は、98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年2月25日における邦貨換算レートは、1アメリカドル=155.83円、1ユーロ=183.46円、1イギリスポンド=210.40円、1香港ドル=19.92円、100韓国ウォン=10.82円、1台湾ドル=4.9499円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年2月25日)現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>134,220,254,782円</b>
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド(評価額)	25,852,266,297
未 収 入 金	108,367,988,485
<b>(B) 負 債</b>	<b>108,734,912,353</b>
未 払 金	108,442,515,701
未 払 解 約 金	41,606,411
未 払 信 託 報 酬	245,908,118
そ の 他 未 払 費 用	4,882,123
<b>(C) 純 資 産 総 額(A-B)</b>	<b>25,485,342,429</b>
元 本	21,831,870,537
次 期 繰 越 損 益 金	3,653,471,892
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>21,831,870,537口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>11,673円</b>

(注) 期首における元本額は31,622,961,027円、当期中における追加設定元本額は307,993,326円、同解約元本額は10,099,083,816円です。

■損益の状況

当期 自2025年2月26日 至2026年2月25日

項 目	当 期
<b>(A) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>5,216,568,357円</b>
売 買 益	11,586,850,750
売 買 損	△ 6,370,282,393
<b>(B) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 501,015,241</b>
<b>(C) 当 期 損 益 金(A+B)</b>	<b>4,715,553,116</b>
<b>(D) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>△ 1,498,208,351</b>
<b>(E) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>436,127,127</b>
(配 当 等 相 当 額)	( 904,585,745)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 468,458,618)
<b>(F) 計 (C+D+E)</b>	<b>3,653,471,892</b>
<b>(G) 収 益 分 配 金</b>	<b>0</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金(F+G)</b>	<b>3,653,471,892</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	436,127,127
(配 当 等 相 当 額)	( 904,703,717)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 468,576,590)
分 配 準 備 積 立 金	3,217,344,765

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。  
 (注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a)経費控除後の配当等収益	83,648,523円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	286,073,891
(c)収 益 調 整 金	904,703,717
(d)分 配 準 備 積 立 金	2,847,622,351
(e)当期分配対象額(a+b+c+d)	4,122,048,482
(f)1万口当たり当期分配対象額	1,888
(g)分 配 金	0
(h)1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金	0円
-----------	----

**Bコース（為替ヘッジなし）**

**■1万口当たりの費用明細**

項目	当期		項目の概要
	(2025年2月26日 ～2026年2月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	327円	1.793%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は18,227円です。
(投信会社)	(170)	(0.935)	投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(150)	(0.825)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	( 6)	(0.033)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.031	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 6)	(0.031)	
(c) その他費用	9	0.050	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 3)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 6)	(0.032)	その他は、法定書類等の作成等に要する費用（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用）、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	342	1.874	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

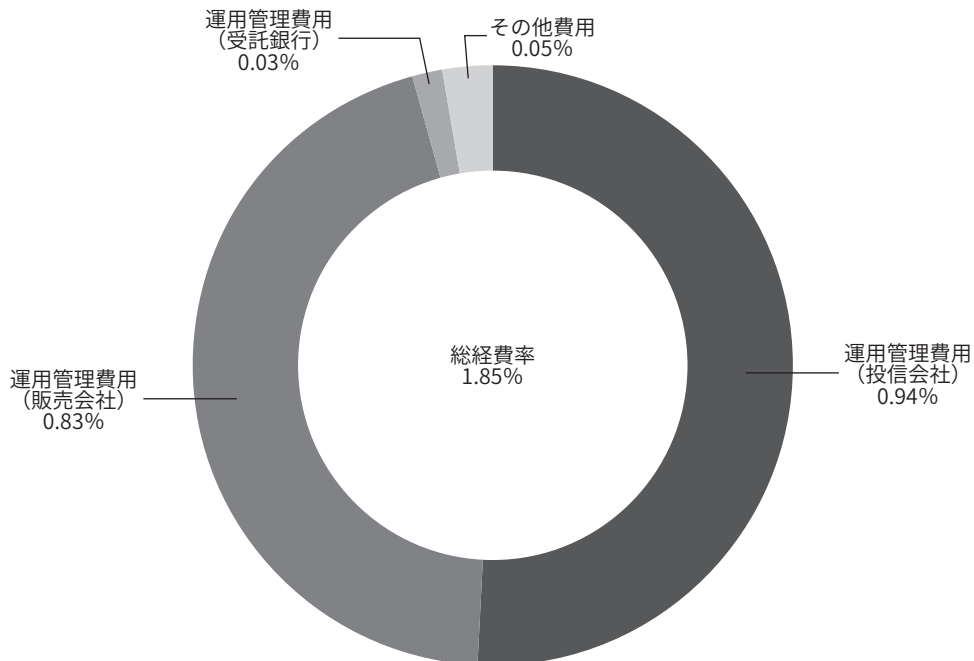
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**Bコース（為替ヘッジなし）**

（参考情報）

■ **総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年2月26日から2026年2月25日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千口 1,095,316	千円 2,151,175	千口 10,005,526	千円 19,690,196

(注) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	95,993,620千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	100,098,250千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	0.95

(注1) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2025年2月26日から2026年2月25日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千口 41,782,731	千口 32,872,520	千円 78,920,347

(注) 単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

2026年2月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド	千円 78,920,347	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	104,413	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	79,024,760	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

(注2) ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産102,874,328千円の投資信託財産総額104,923,992千円に対する比率は、98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年2月25日における邦貨換算レートは、1アメリカドル=155.83円、1ユーロ=183.46円、1イギリスポンド=210.40円、1香港ドル=19.92円、100韓国ウォン=10.82円、1台湾ドル=4.9499円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年2月25日)現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>79,024,760,476円</b>
ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド(評価額)	78,920,347,833
未 収 入 金	104,412,643
<b>(B) 負 債</b>	<b>815,784,950</b>
未 払 解 約 金	104,412,643
未 払 信 託 報 酬	698,936,370
そ の 他 未 払 費 用	12,435,937
<b>(C) 純 資 産 総 額(A - B)</b>	<b>78,208,975,526</b>
元 本	35,830,986,607
次 期 繰 越 損 益 金	42,377,988,919
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>35,830,986,607口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C / D)</b>	<b>21,827円</b>

(注) 期首における元本額は44,775,330,114円、当期中における追加設定元本額は1,194,551,526円、同解約元本額は10,138,895,033円です。

■損益の状況

当期 自2025年2月26日 至2026年2月25日

項 目	当 期
<b>(A) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>20,677,534,749円</b>
売 買 益	23,458,648,536
売 買 損	△ 2,781,113,787
<b>(B) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 1,321,445,439</b>
<b>(C) 当 期 損 益 金(A + B)</b>	<b>19,356,089,310</b>
<b>(D) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>17,660,670,549</b>
<b>(E) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>5,361,229,060</b>
(配 当 等 相 当 額)	( 2,726,394,746)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,634,834,314)
<b>(F) 計 (C + D + E)</b>	<b>42,377,988,919</b>
<b>(G) 収 益 分 配 金</b>	<b>0</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金(F + G)</b>	<b>42,377,988,919</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	5,361,229,060
(配 当 等 相 当 額)	( 2,727,050,788)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,634,178,272)
分 配 準 備 積 立 金	37,016,759,859

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。  
 (注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a)経費控除後の配当等収益	246,813,782円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	19,109,275,528
(c)収 益 調 整 金	5,361,229,060
(d)分 配 準 備 積 立 金	17,660,670,549
(e)当期分配対象額(a + b + c + d)	42,377,988,919
(f)1万口当たり当期分配対象額	11,827
(g)分 配 金	0
(h)1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金	0円
-----------	----

# ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンド 運用報告書

第6期（決算日 2026年2月25日）

（計算期間 2025年2月26日～2026年2月25日）

ティール・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として無期限（設定日：2020年9月28日）
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。
主要投資対象	世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入率 株比	純資産額
	円	騰落率		騰落率		
2期（2022年2月25日）	10,448	△20.7%	14,256	15.0%	97.7%	141,619 百万円
3期（2023年2月27日）	8,416	△19.4%	14,787	3.7%	97.3%	97,888
4期（2024年2月26日）	14,881	76.8%	24,514	65.8%	99.0%	130,991
5期（2025年2月25日）	17,713	19.0%	29,696	21.1%	97.9%	103,663
6期（2026年2月25日）	24,008	35.5%	39,299	32.3%	97.9%	104,771

（注1）当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注2）参考指数（MSCIオール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース））は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

（注3）騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

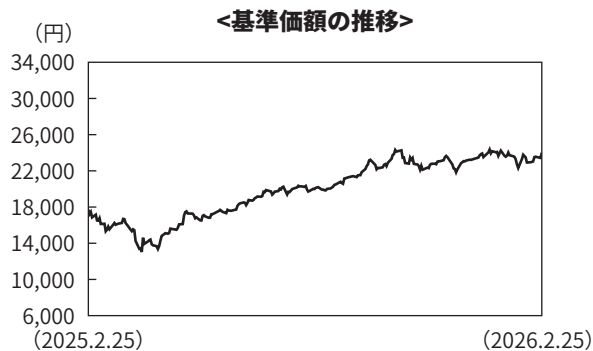
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2025年 2月25日	円 17,713	% -	29,696	% 97.9
2 月末	16,858	△ 4.8	28,364	△ 4.5 99.1
3 月末	15,503	△12.5	26,282	△11.5 99.2
4 月末	15,057	△15.0	25,290	△14.8 98.7
5 月末	16,967	△ 4.2	28,424	△ 4.3 98.8
6 月末	18,509	4.5	30,962	4.3 99.4
7 月末	20,183	13.9	33,624	13.2 99.5
8 月末	20,194	14.0	33,597	13.1 99.2
9 月末	21,501	21.4	35,900	20.9 99.4
10月末	24,132	36.2	40,222	35.4 99.5
11月末	22,778	28.6	38,692	30.3 99.2
12月末	23,215	31.1	39,489	33.0 99.2
2026年 1 月末	23,728	34.0	39,285	32.3 99.3
(期 末) 2026年 2月25日	24,008	35.5	39,299	32.3 97.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指数 (MSCI オール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス (税引前配当込み、円ベース)) は、2020年9月28日を10,000として指数化しております。

(注3) 騰落率および組入比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

**■当期の運用経過**（2025年2月26日から2026年2月25日まで）**■基準価額の主な変動要因**

(主なプラス要因)

- ・ エヌビディア（米国／半導体・半導体製造装置）や台湾セミコンダクター（台湾／半導体・半導体製造装置）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ アディエン（オランダ／金融サービス）やハブスポット（米国／ソフトウェア・サービス）といった組入銘柄の株価が下落したこと。

## ■投資環境

(株式市場)

当期の世界株式市場は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(MSCI ACWI：税引前配当込み、現地通貨ベース)でみて上昇しました。期初はトランプ関税をめぐる不透明感から上値重く推移し、実際にトランプ大統領が大規模な相互関税案を発表した4月初めには急落しました。しかし、自律反発後は、期末にかけて上昇局面が続きました。①各国との貿易協議や関税率引き下げの進展、②利下げや人工知能(AI)をめぐる商機への期待などを背景に米国株式市場が上昇しました。また、マクロ経済見通しの改善などから欧州株式市場が堅調だったほか、AIをめぐる投資の恩恵が期待されたアジアの主要国や資源高などから中南米諸国も上昇し、新興国株式市場は米国など先進国を上回る上昇となりました。

MSCI ACWIの情報技術セクター指数は、期を通じてAIの需要拡大による恩恵が期待された先端半導体が相場をけん引してMSCI ACWIを上回る上昇となりました。ただし、2025年11月以降は、バリュエーション面やAI関連の巨額設備投資に対する懸念が相場の上値を抑えたほか、ソフトウェア関連銘柄は、AIによる代替が警戒され、期末にかけて下落圧力が強まりました。情報技術セクター以外では、検索大手Googleの親会社のアルファベットや電気自動車(EV)大手のテスラなどが大幅に上昇しました。

(為替市場)

為替市場では、①円安志向と目される高市政権の発足も背景に、4月半ばから期末にかけて円安圧力が持続した一方、②米国を除く各国の利下げ終了観測の浮上、③資源価格の上昇、④世界的な株高持続にみられる投資家のリスク選好度の高さなどから、多くの通貨が円に対して上昇しました。

## ■ポートフォリオについて

当ファンドは、世界各国の株式(エマージング・マーケット\*<sup>1</sup>も含まれます。)の中で、情報技術の開発、進化、活用により成長性が高いとティール・ロウ・プライスが判断する情報技術関連分野のリーディング・カンパニー\*<sup>2</sup>の株式を中心に投資を行います。

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ\*<sup>3</sup>」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティール・ロウ・プライス\*<sup>4</sup>のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

\*<sup>1</sup> エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

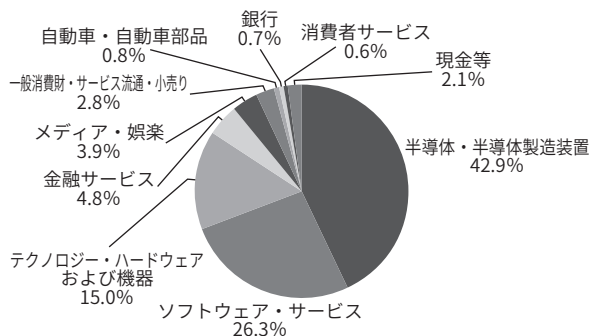
\*<sup>2</sup> 情報技術関連分野のリーディング・カンパニーとは、情報技術の開発、進化または活用等により、製品、商品、サービス等を提供し、世界をけん引するような企業をいい、今後その可能性があるとしてティール・ロウ・プライスが判断する企業を含みます。

\*<sup>3</sup> ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

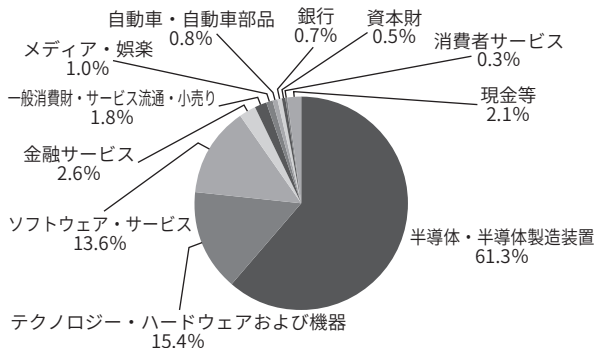
\*<sup>4</sup> 委託会社およびその関連会社をいいます。

その結果、当期末におけるポートフォリオの産業グループ配分は、半導体・半導体製造装置、ソフトウェア・サービス、テクノロジー・ハードウェアおよび機器が上位となりました。

セクター別組入比率  
前期末（2025年2月25日）



当期末（2026年2月25日現在）



(注) セクターは世界産業分類基準（G I C S）を使用しています。ティール・ロウ・プライスは、将来の報告についてG I C Sの更新があればそれに従います。

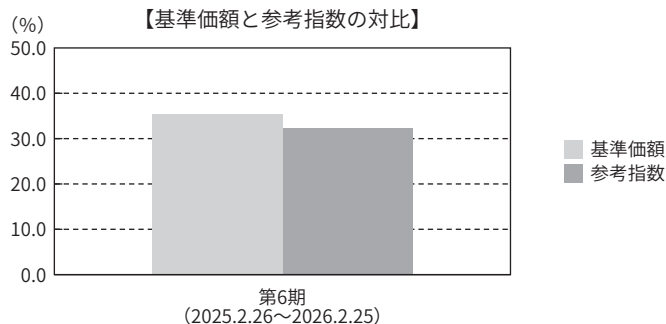
世界産業分類基準（「G I C S」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「M S C I」）およびマグローヒル・カンパニーズ傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S & P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティール・ロウ・プライスにライセンス供与されています。M S C I、S & PまたはG I C Sの作成、編集もしくはG I C S分類に関する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その獨創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、M S C I、S & P、その関連会社またはG I C Sの作成、編集もしくはG I C S分類に関する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

個別銘柄では、サムスン電子（韓国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）やインテル（米国／半導体・半導体製造装置）のほか、アリスタネットワークス（米国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）などの組入を開始しました。一方で、アップル（米国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）やマイクロソフト（米国／ソフトウェア・サービス）の組入を削減したほか、N X Pセミコンダクターズ（オランダ／半導体・半導体製造装置）などの組入を終了しました。

株式の組入比率は当期間を通じて高い水準を維持しました。

## ■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド情報技術インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## ■今後の運用方針

今後も、90年近くに及ぶ成長株投資の伝統と世界中に広がる株式調査網を活用し、柔軟かつ機動的ながら規律ある銘柄選択・ポートフォリオ運営を継続し、革新的なテクノロジー進化の果実を投資家の皆様にお届けすることを目指します。これまで通り、マクロ環境や増税等、企業業績に影響を与える様々な不確定要素に留意しつつ、足元の状況よりも長期のトレンド、構造変化やライフスタイルの変化の恩恵などに目を向け、長期的な利益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力しています。

## ■お知らせ

下記の通り約款変更を行いました。

- ・運用報告書の電子交付について、投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴う記載の変更を行いました。（2025年4月1日付け）

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	6円 (6)	0.030% (0.030)
(b) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
合 計	9	0.047

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(19,885円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要および注記については前掲の(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■売買および取引の状況 (2025年2月26日から2026年2月25日まで)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 255	千円 852,439	千株 109	千円 1,487,076
	ア メ リ カ	百株 14,768 ( 953)	千アメリカドル 186,080 ( 3,412)	百株 24,677 ( 102)	千アメリカドル 341,598 ( 3,873)
外	ユ ー ロ		千ユーロ		千ユーロ
	ド イ ツ	624	2,082	1,245	11,691
	オ ラ ン ダ	184	7,579	372	17,632
	イ ギ リ ス	—	千イギリスポンド	1,347	千イギリスポンド 1,380
国	香 港	138	千香港ドル 1,489	481	千香港ドル 22,686
	韓 国	2,180	千韓国ウォン 22,978,260	340	千韓国ウォン 8,296,772
	台 湾	4,940	千台湾ドル 95,817	8,600	千台湾ドル 735,986

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2025年2月26日から2026年2月25日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 国内株式

銘柄	前期末	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>電気機器 (100.0%)</b>			
ルネサスエレクトロニクス	—	225.8	665,884
キーエンス	20.4	11	738,650
<b>その他製品 (—%)</b>			
任天堂	70.5	—	—
合計	株数・金額	90	236
	銘柄数<比率>	2	2
			1,404,534
			<1.3%>

(注1) 銘柄欄の ( ) 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AMAZON.COM INC	274	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
ADVANCED MICRO DEVICES	1,597	1,200	25,668	3,999,922	半導体・半導体製造装置
ANALOG DEVICES INC	465	227	8,108	1,263,551	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	3,030	1,587	43,200	6,731,990	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	183	—	—	—	ソフトウェア・サービス
COGNEX CORP	1,452	877	5,078	791,338	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CORNING INC	1,546	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CADENCE DESIGN SYS INC	273	168	4,905	764,385	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	8,626	6,763	130,441	20,326,627	半導体・半導体製造装置
INTEL CORP	—	4,589	21,167	3,298,547	半導体・半導体製造装置
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP	1,354	1,007	9,908	1,544,040	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	1,322	622	24,207	3,772,189	ソフトウェア・サービス
ENTEGRIS INC	769	620	8,461	1,318,626	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORP	—	491	7,176	1,118,313	ソフトウェア・サービス
NETFLIX INC	77	347	2,715	423,104	メディア・娯楽
SYNOPSYS INC	160	154	6,824	1,063,469	ソフトウェア・サービス
TERADYNE INC	—	160	5,280	822,821	半導体・半導体製造装置
TOWER SEMICONDUCTOR LTD	—	365	4,603	717,327	半導体・半導体製造装置
STRATEGY INC	—	70	879	137,052	ソフトウェア・サービス
CIENA CORP	758	256	8,781	1,368,343	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
FIRST SOLAR INC	—	126	3,064	477,532	半導体・半導体製造装置
MERCADOLIBRE INC	23	13	2,591	403,850	一般消費財・サービス流通・小売り
NXP SEMICONDUCTORS NV	372	—	—	—	半導体・半導体製造装置
FORTINET INC	457	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TESLA INC	166	124	5,084	792,381	自動車・自動車部品
SERVICENOW INC	136	394	4,040	629,641	ソフトウェア・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC	—	225	3,193	497,624	ソフトウェア・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	287	—	—	—	ソフトウェア・サービス

銘柄	前期末	当	期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AXON ENTERPRISE INC	—	80	3,540	551,650	資本財	
BROADCOM INC	1,566	1,242	40,426	6,299,662	半導体・半導体製造装置	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	—	67	2,364	368,520	ソフトウェア・サービス	
DATADOG INC - CLASS A	317	312	3,258	507,792	ソフトウェア・サービス	
CIRCLE INTERNET GROUP INC	—	194	1,191	185,613	ソフトウェア・サービス	
ARISTA NETWORKS INC	—	558	7,188	1,120,116	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDI	—	206	2,493	388,629	半導体・半導体製造装置	
KANZHUN LTD	1,807	—	—	—	メディア・娯楽	
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	228	125	2,036	317,381	金融サービス	
APPLOVIN CORP-CLASS A	161	240	9,447	1,472,143	ソフトウェア・サービス	
SNOWFLAKE INC-CLASS A	—	190	3,073	478,944	ソフトウェア・サービス	
DOORDASH INC - A	219	115	1,901	296,292	消費者サービス	
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	4,331	2,723	4,501	701,525	銀行	
ARM HOLDINGS PLC	—	314	4,034	628,754	半導体・半導体製造装置	
CONFLUENT INC-CLASS A	1,102	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ROBINHOOD MARKETS INC - A	867	387	2,843	443,067	金融サービス	
GLOBANT SA	399	258	1,093	170,461	ソフトウェア・サービス	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	313	255	3,915	610,197	一般消費財・サービス流通・小売り	
SERVICITITAN INC-A	195	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SAMSARA INC-CL A	723	455	1,187	185,086	ソフトウェア・サービス	
BRAZE INC-A	575	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ATLISSIAN CORP PLC-CLASS A	192	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
HUBSPOT INC	129	74	1,742	271,519	ソフトウェア・サービス	
LAM RESEARCH CORP	—	110	2,699	420,693	半導体・半導体製造装置	
SHOPIFY INC - CLASS A	1,153	546	6,391	996,043	ソフトウェア・サービス	
LUMENTUM HOLDINGS INC	—	53	3,690	575,091	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
BLOCK INC	642	623	3,180	495,611	金融サービス	
PINDUODUO INC-ADR	340	210	2,245	349,857	一般消費財・サービス流通・小売り	
SEA LTD-ADR	426	322	3,455	538,533	一般消費財・サービス流通・小売り	
ZSCALER INC	256	163	2,435	379,541	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	39,287	30,228	455,723	71,015,416	
	銘柄数 < 比率 >	42	47	—	<67.8%>	
<b>(ユーロ…ドイツ)</b>			千ユーロ			
SAP SE	779	421	6,985	1,281,531	ソフトウェア・サービス	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	2,638	2,375	11,089	2,034,485	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	3,417	2,796	18,074	3,316,017	
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	< 3.2%>	
<b>(ユーロ…オランダ)</b>						
ASM INTERNATIONAL NV	128	82	5,944	1,090,596	半導体・半導体製造装置	
ASML HOLDING NV	247	230	29,168	5,351,182	半導体・半導体製造装置	
BE SEMICONDUCTOR INDUSTRIES	485	381	7,330	1,344,849	半導体・半導体製造装置	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			株数	金額	
ADYEN NV	百株 79	百株 57	千ユーロ 5,391	千円 989,164	金融サービス
小計	株数・金額 940	752	47,834	8,775,791	
	銘柄数<比率> 4	4	—	< 8.4%>	
ユーロ計	株数・金額 4,358	3,549	65,909	12,091,809	
	銘柄数<比率> 6	6	—	<11.5%>	
<b>(イギリス)</b>			千イギリスポンド		
WISE PLC - A	3,827	2,479	2,065	434,631	金融サービス
小計	株数・金額 3,827	2,479	2,065	434,631	
	銘柄数<比率> 1	1	—	< 0.4%>	
<b>(香港)</b>			千香港ドル		
TENCENT HOLDINGS LTD	921	578	30,056	598,715	メディア・娯楽
小計	株数・金額 921	578	30,056	598,715	
	銘柄数<比率> 1	1	—	< 0.6%>	
<b>(韓国)</b>			千韓国ウォン		
SK HYNIX INC	483	315	31,699,710	3,429,908	半導体・半導体製造装置
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	—	2,007	40,155,800	4,344,857	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 483	2,323	71,855,510	7,774,766	
	銘柄数<比率> 1	2	—	< 7.4%>	
<b>(台湾)</b>			千台湾ドル		
ACCTON TECHNOLOGY CORP	690	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HON HAI PRECISION INDUSTRY	—	3,730	86,536	428,344	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	13,710	9,060	1,780,290	8,812,257	半導体・半導体製造装置
SILERGY CORP	2,050	—	—	—	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 16,450	12,790	1,866,826	9,240,602	
	銘柄数<比率> 3	2	—	< 8.8%>	
合計	株数・金額 65,327	51,949	—	101,155,941	
	銘柄数<比率> 54	59	—	<96.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国・地域別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

2026年2月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 102,560,475	% 97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,363,517	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	104,923,992	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末における外貨建純資産102,874,328千円の投資信託財産総額104,923,992千円に対する比率は、98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年2月25日における邦貨換算レートは、1アメリカドル=155.83円、1ユーロ=183.46円、1イギリスポンド=210.40円、1香港ドル=19.92円、100韓国ウォン=10.82円、1台湾ドル=4.9499円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年2月25日)現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>106,364,509,236円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	873,804,971
株 式(評価額)	102,560,475,590
未 収 入 金	2,911,805,861
未 収 配 当 金	18,422,814
<b>(B) 負 債</b>	<b>1,592,991,631</b>
未 払 金	1,446,972,577
未 払 解 約 金	146,019,054
<b>(C) 純 資 産 総 額(A - B)</b>	<b>104,771,517,605</b>
元 本	43,640,708,985
次 期 繰 越 損 益 金	61,130,808,620
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>43,640,708,985口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C / D)</b>	<b>24,008円</b>

(注1) 期首元本額 58,524,318,363円  
 追加設定元本額 2,150,101,144円  
 一部解約元本額 17,033,710,522円

(注2) 期末における元本の内訳  
 ティール・ロウ・プライスグローバル・テクノロジー株式会社Aコース (為替ヘッジあり) 10,768,188,228円  
 ティール・ロウ・プライスグローバル・テクノロジー株式会社Bコース (為替ヘッジなし) 32,872,520,757円

■損益の状況

当期 自2025年2月26日 至2026年2月25日

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>423,979,349円</b>
受 取 配 当 金	417,551,677
受 取 利 息	3,973,559
そ の 他 収 益 金	2,454,113
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>30,789,159,760</b>
売 買 益	42,481,933,650
売 買 損	△11,692,773,890
<b>(C) そ の 他 費 用 等</b>	<b>△ 18,506,662</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)</b>	<b>31,194,632,447</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>45,138,991,899</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>1,753,033,036</b>
<b>(G) 解 約 差 損 益 金</b>	<b>△16,955,848,762</b>
<b>(H) 計 (D + E + F + G)</b>	<b>61,130,808,620</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金(H)</b>	<b>61,130,808,620</b>

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) (C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注4) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。